

# 住宅総合館ver5\_PANEO CMSの仕様について

---

ここでは住宅総合館ver5\_PANEO CMSの仕様について説明いたします。

以下にPANEO CMSの動作環境および仕様を記載いたしますのでご確認ください。

※このCMSは以前のバージョンで作成されたものとの互換性がございません。  
バージョンアップには対応しておりませんので、新規でのご利用をお願いいたします。

# 1. PANEО CMSの仕様

## 動作環境

- ・ Python2.7以降が稼働するホスティング環境

Pythonの以下ライブラリを利用しています。

Beaker  
bottlenose  
BeautifulSoup4  
flup  
formencode  
html5lib  
mako  
PIL  
scss  
sqlite3dbm  
sqlobject  
web.py  
whoosh

## 2. PANEО CMSの仕様

VPS環境にて独自の環境構築を行われる場合は、上記のpythonモジュールをサーバにインストールして頂く必要がございます。

※VPS環境の構築についてのお問い合わせは、本部サポートにてお受けいたしますが、実作業を伴う相談やは、本部のサポートサービスがございますので、別途お問い合わせください。

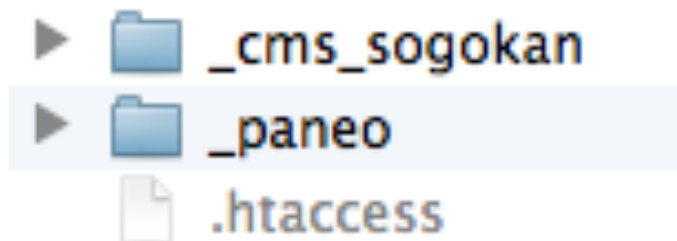
### ☐ 本部対応の共有ホスティング環境

さくらインターネット さくらのレンタルサーバ の各プラン  
<http://www.sakura.ne.jp/>

**上記以外の共有ホスティング**の動作などのご質問などには対応いたしかねますのでご了承下さい。

### 3. PANEО CMSの仕様

- ・フォルダ構造



\_paneo . . . CMSのコアプログラムファイルです。

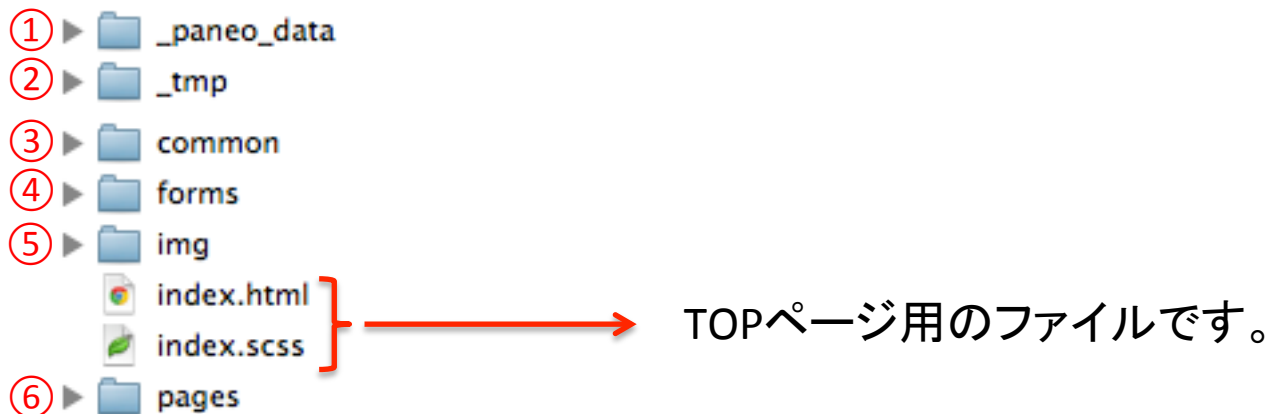
\_cms\_sogokan . . . CMSのテンプレートファイルです。

css,js,htmlテンプレートデータ、画像ファイルなど、サイト表示に関するデータが入っているフォルダです。

.htaccess . . . サーバ上で上記プログラム等を動作させるために必要なファイルです。

※不可視ファイルとなりますので、FTPソフトの設定で不可視ファイルを表示にしていただかないと表示されません。  
詳細は配布用FTPサーバ内、「htaccsesファイルが存在しない場合.txt」をご確認下さい。
















## 4. PANEIO CMSの仕様 [\_cms\_sogokanフォルダ詳細]



- ①データベースとテンプレートファイルを格納しているフォルダ
- ②データのキャッシュフォルダ・・・サイト表示レスポンス改善のため、表示データをキャッシュするためのフォルダ
- ③css,js,共通imgを格納しているフォルダ
- ④フォームメールのテンプレートを格納しているフォルダ
- ⑤管理画面からアップした画像を格納しているフォルダ
- ⑥管理画面のPAGES機能で作成したテンプレートを格納しているフォルダ

## 5. PANEО CMSの仕様

[\_cms\_sogokan -> \_paneo\_dataフォルダ詳細]

- |   |   |
|---|---|
| <p>①  config_article.py</p> <p>②  config_article.pyc</p> <p>② ▼  db</p> <p>     articles copy.sqlite3</p> <p>     articles.sqlite3</p> <p>     paneodb copy.sqlite3</p> <p>     paneodb.sqlite3</p> <p>     sessions copy.sqlite3</p> <p>     sessions.sqlite3</p> <p>③ ▼  templates</p> <p>    ▶  _backup</p> <p>④ ▶  article_templateset</p> <p>     default_skelton_template.html</p> <p>⑤ ▶  include</p> <p>⑥ ▶  page_templateset</p> | <p>① 記事タイプページの詳細設定ファイル<br/>(※ 詳細説明は後ページで記載)</p> <p>② CMSのデータを保存しているデータベースファイル</p> <p>③ 記事タイプのテンプレートを格納しているフォルダ<br/>_backupは管理ページで修正した際の元ファイルを自動で保存しているフォルダ</p> <p>④ 記事タイプのテンプレートを格納しているフォルダ<br/>-&gt;①で設定した記事タイプ毎のテンプレートをここに格納します。</p> <p>⑤ 各ページ共通のテンプレートを格納しているフォルダ<br/>ヘッダ、フッタなど各ページに共通して表示されるテンプレートをここに置いてインクルードさせます。<br/>各テンプレートに&lt;%include file="xxxxx.html" /&gt;とすることで表示させることが可能です。※ xxxxx.htmlがファイル名</p> <p>⑥ 各ページ共通の標準テンプレートを格納しているフォルダ<br/>-&gt;④でテンプレートを作成していない場合、このテンプレートファイルが適用されます。</p> |
|---|---|

## 6. PANEО CMSの仕様

[\_cms\_sogokan -> \_paneo\_dataフォルダ]

### ■ config\_article.py について

※ここで設定した項目は管理画面にログイン状態だと反映されません。  
必ずログアウト後に再度ログインしてから作業を進めてください。

ARTICLES\_TYPE . . . 記事のタイプを設定する項目

id	. . . データベースファイルの通し番号 (変更・重複不可)
prefix	. . . サイトのURL (フォルダ名) に該当する項目
title	. . . 管理画面やサイトに表示されるタイトル
idx	. . . 管理画面の並びを設定する番号
group	. . . 記事のグループを指定する項目
category	. . . グループ内のカテゴリを指定する項目
code:	... 通し番号
parent:	... 親子関係を指定する項目
label:	... 管理画面やサイトに表示されるタイトル
idx:	... 並びを設定する項目

※NEWSは標準コンテンツとなります。削除は出来ませんので、残した状態でご利用ください。

group\_delete,category\_delete項目について

. . . グループ分けやカテゴリー分けがなくなった場合、ここの[]内に入れると各項目はDB上で削除されます。  
通常の利用ではほぼ使わない機能ですが、削除された場合、データの復元は出来ませんので、利用には十分ご注意ください。

## 7. PANEО CMSの仕様

[\_cms\_sogokan -> \_paneo\_dataフォルダ]

### ■ config\_article.py について

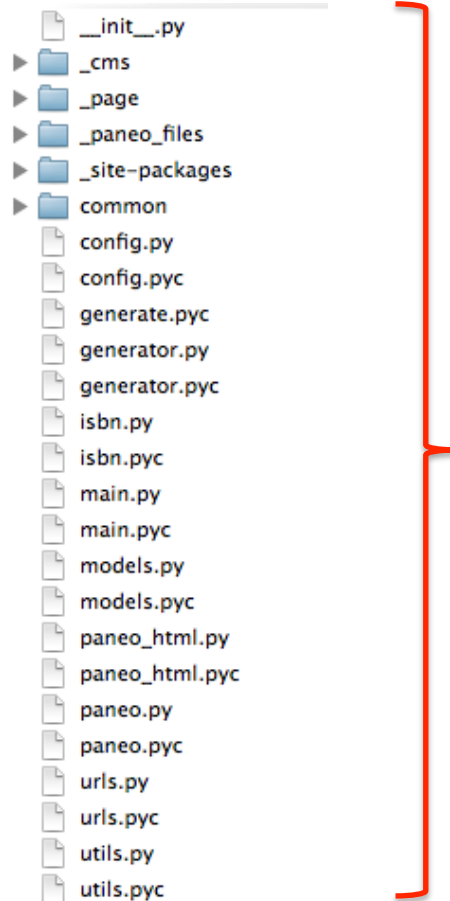
ARTICLES . . . 設定したタイプのコンテンツを設定する項目

type	. . . ARTICLES_TYPEのIDを指定
id	. . . データベースファイルの通し番号 (変更・重複不可)
prefix	. . . サイトのURL (フォルダ名) に該当する項目
title	. . . 管理画面に表示されるタイトル
template_set	. . . テンプレートフォルダ名
template_system_use	. . . PANEОシステムフォルダテンプレートの利用有無を指定
default_template:	. . . 標準のテンプレートを指定する項目
password	. . . 個別の管理画面用のパスワードを指定する項目
active	. . . コンテンツを利用するか否かを指定する項目

※ ARTICLES\_TYPE、ARTICLESともに、idの変更・重複登録はデータベースファイルの不具合を来す恐れがございますので、設定時には十分ご確認の上登録をお願いいたします。



## 8. PANEО CMSの仕様 [\_paneoフォルダ詳細]



- \_\_init\_\_.py
- cms
- page
- paneo\_files
- site-packages
- common
- config.py
- config.pyc
- generate.pyc
- generator.py
- generator.pyc
- isbn.py
- isbn.pyc
- main.py
- main.pyc
- models.py
- models.pyc
- paneo\_html.py
- paneo\_html.pyc
- paneo.py
- paneo.pyc
- urls.py
- urls.pyc
- utils.py
- utils.pyc

PANO CMSのプログラム動作に必要なファイルです。  
制作の段階で触れる必要はありませんが、PANEО CMSのバージョンアップの際はファイルの差し替えが必要です。

また設置の際は、**main.pyのパーミッション（権限を）755**にして頂く必要があります。

## 9. PANEО CMSの仕様 [\_paneoフォルダ詳細]

### ■ config.pyについて

config.pyを編集することで様々な設定を行うことが可能です。

- # LOGIN PASSWORD . . . 管理画面のパスワードを変更する項目
- # IMAGE CONVERT . . . レスポンシブWebでの画像最適化を有効、無効にする項目
- # SCSS\_CONV . . . CSSの上位機能、SCSSを有効、無効にする項目  
利用詳細はこちらをご確認ください。<http://goo.gl/EzkbC> <http://sass-lang.com>
- # HTML CACHE ENGINE . . . HTMLファイルのキャッシュを有効、無効にする項目
- # PANEО SITE DATA DIR . . . CMSフォルダの場所を指定する項目
- # PAGE TEMPLATE SET . . . ページテンプレートの標準のテンプレートを指定する項目
- # PANEО SITE SIZE SETTING . . . サイトの標準サイズを指定する項目
- # AMAZON AWS . . . アマゾンテンプレートを利用する際に指定するアマゾンコード

※サイズの変更はcssファイル全体の書き換えを伴いますので、十分ご確認の上変更をお願いいたします。

アマゾンのデータを利用する際は、AWS\_KEY/SECRET\_KEY/ASSOCIATE\_TAGの事前の取得申請が必要です。

## 10. PANEО CMSの仕様

### 各テンプレートのデータ表示・取り込みについて

管理画面の各テンプレート、記事ファイルに記載されているコードをうまく利用することで、それぞれのデータを引っ張ってくることが可能です。

例) トップページにイベント情報を表示したい場合

```
<% article = AT.GetArticle('event') %>
```

`${article.header}`

ドキュメント名  
[例:article.title]

イベント

段落ヘッダー文  
[例:article.header]

イベント情報

`${article.lead}`

段落リード文  
[例:article.lead]

私たちを知って頂く大切なイベントです。

ここに書いてあるタグを上記のように記載し、indexテンプレートの表示させたい場所に記載するだけで、データを引っ張ってくることが可能です。

記事の件数指定や、画像の取り込みも可能ですので、実際のテンプレートを参考に適宜変更をお願いいたします。

# 11. PANEIO CMSの仕様

各テンプレートのデータ表示・取り込みについて

imgフォルダから画像を取得する場合

例) イベント内の画像を5件表示

- ・ mainpic が画像ファイル名 で 130px のサムネイル

```
<% article = AT.GetArticle('event') %>
%for contents in article.GetPostsByUpdated(5)
<figure class="paneoimg">
${ contents.GetImageTag('mainpic','130x130') }
</figure>
%endfor
```

※ %for ~ %endfor の中に記載しないとデータが引っ張ってこれません。  
詳細は各テンプレートの中身をご確認の上、適宜変更をお願いいたします。

## 12. PANEО CMSの仕様

### 各テンプレートの構成ファイルについて

今回のバージョンよりcssのテンプレートを構成する基本パーツとしてレスポンシブデザイン用の超軽量フレームワーク -Kube Framework- を採用しております。

<http://goo.gl/7r2cq>

このフレームワークのルールに基づいて、各コンテンツにクラス名を指定することで、簡単にレスポンシブWeb対応のテンプレートを作成することが可能となります。  
上記を参考にさせていただき、適宜ご活用いただければと思います。

また総合館の標準仕様としてモリサワのTypeSquireを採用しております。

<http://goo.gl/5yRX2>

こちらでもウェブデザインの表現力を高めるためには必要な機能となりますので、ぜひ導入して頂きますようお願いいたします。